

巻頭言

人間としても生き方を考える

板野中学校 漆 原 都 夫

1990年度末「峠を越えて」と題して二年団が同和問題学習の授業記録を中心にした1年間の研究実践をまとめ発行し、また「ねんりん」という名の学年だより300号を製本発行し多くの方の御好評をいただき三木康楽会より康楽会賞をいただく栄誉まで受けました。今年度の三年団もまた新しいメンバーを迎え発足しましたが、三年団は平常でも進路指導・生徒指導などに追われて大変なのに今年度は板野郡同和教育研究大会、全国小・中学校道德教育研究大会、徳島県中学校同和教育研究大会と三つの大会で公開授業を行うことになり、本校の先生方はそのための準備研究、指導案作成、生徒訓練に追われ、少なくとも例年の二倍以上の勤務・研究を余儀なくされたと思い校長として申し訳ない思いもしております。

しかし、そうした中でも三年団は最高学年としてすべての任務を果たし生徒一人一人も自分の将来を見つめ、進路を考えながら、道德・同和問題学習に学年全体、学校全体で真剣に取り組みました。校長としての指導力の不足から県内各地の先生方のご指導を仰ぎましたが、お陰で教師と生徒保護者が共に協力して真剣に学習すれば、生徒はこれだけ成長し健気にたくましく生きる力を身に付けるものかと改めて感動しております。

こうした忙しい（とは言まいと自戒していましたが）充実の日々にあって三年団は今年も毎日「ねんりんPARTⅡ」を書き続けて335号、そして三年団全員で「峠を越えてPARTⅡ」もこのようにできあがりました。昨年度から生徒と教師がどれだけ成長したかご覧いただければ幸いです。そして私どものこうした取組みが現在の中学校教育に欠けているといわれる人間教育の一つのあり方として、どこからでも御一読いただいて、いろいろご意見、ご指導を賜りますと同時に共に人間としての生き方を考える道德学習、同和問題学習の在り方を考え実践することによって、美しい歳の中学生に部落差別を始めとするあらゆる差別を排除して、人生の夢と希望を求めて21世紀をたくましく生き抜いていく力をつけていこうではありませんか。

は　じ　め　に

私たちは昨年度同和教育を中心とした1年間の実践の足跡を「峠を越えて」という冊子にまとめた。私たち学年教師集団だけのささやかな記録のつもりである。しかし、記録をまとめ実際に冊子を手にしたとき自分たちの足跡が目に見える形で表れたことになんとも言えない喜びがあった。今年度は本校で板野郡中学校同和教育研究大会と徳島県中学校同和教育研究大会が持たれた。それを受け身に受け取ることなく積極的に自分たち教師としての問題として取り組もうと考え、私たちに全力を尽くしてみようという共通理解のもとに今年度の実践がスタートする。年度末に冊子にまとめるにたるような実践をしたい。それは私たちの一つの願いであった。冊子にまとめるためにすばらしい実践を心がけるといえるのは一見本末転倒に思える。しかし、スタートはそれでもよかった。研究大会も冊子にまとめることも一つの動機付けに過ぎなかったと言えるような実践を継続していくことこそ重要であった。そしてこの「峠を越えて」PARTⅡが生まれた。私たち9名の学年教師集団にとってこの一年は苦しくもありまた楽しく充実した1年でもあった。一つの全体学習の指導案をめぐって遅くまで話し合いを続けた。それはいかに「指導」するか、ということから離れて私たちの同和教育観を洗い直していくものでもあった。延べにして二十回の今年度の公開授業はその時その時の私たちにりの精一杯のものである。子供たちの突き付ける言葉や苦しみに立ち往生することもあった。力足りなさに投げそうになり、子供たちの苦しみに応えきれない自分の情けなさを実感した日々でもあった。一方で子供たちの笑顔に救われ同僚の暖かい思いを受け止めていく日々でもあった。“共に希望を語ること”の本当の意味が見え始めた。支えあう助け合う教師集団のあり方がつかみ始めた。

3年生を送りだし、子供たちにとっても私たち教師にとってもまさにこれからが正念場の思いを強くしている。本冊子は私たち教師集団と185名の子供たちの連帯の証であると同時にこれからへの決意の表明の一つにしたいとの思いまとめたものである。日暮れて道遠し、であるが、遠慮のないご批判、ご指導をいただければそれをまた明日からの実践に活かしていきたいと考えている。

目 次

巻頭言

* はじめに

I この一年の歩み	1
1. 全体学習	2
2. 学年同和問題意見発表会	10
3. 学習会への参加	13
4. 文化祭に向けて	15
5. 学年通信「ねんりん」	18
6. 家庭訪問	22
7. 二つの大会を経て	25
8. その他の日常活動	46
(学力保障・自由作文・あゆみ)	
9. 言葉を胸に刻んで	49
10. 思いつくままに	56

II 授業実践	69
---------	----

(一学期全体学習)

1. 人間らしい生き方を求めて(指導案) 森口教諭	70
2. 人間らしい生き方を求めて(指導案) 仁木教諭	75
3. きず跡 (指導案・授業記録) 佐野教諭	81
全体学習 森口教諭	92
4. 娘の遺してくれたもの	100
(指導案・授業記録) 後藤田教諭	
全体学習 仁木教諭	111
5. 誇りうる生き方を求めて (指導案) 阿部教諭	118

(板野郡同和教育研究大会)

6. 人間としての生き方を求めて(指導案) 佐野教諭	125
7. 誇りうる生き方を求めて	130
(指導案・授業記録) 森口教諭	
8. 人間としての生き方を求めて	146
(指導案・授業記録) 仁木教諭	
9. 人間としての生き方を求めて(指導案) 後藤田教諭	158
10. 誇りうる生き方を求めて	165
(指導案・授業記録) 阿部教諭	

(二学期全体学習)

1 1. 強く生きる (指導案)	仁木教諭	192
1 2. 誇りうる生き方を求めて (指導案)	阿部教諭	200
1 3. 人の世に熱あれ、人間に光あれ (指導案)	森口教諭	207
1 4. とともに進もう (指導案)	佐野教諭	214
1 5. 人間としての生き方 (指導案)	後藤田教諭	219

(県中学校同和教育研究大会)

1 6. 誇りうる生き方を求めて (指導案・授業記録)		224
	3 A 佐野教諭	
1 7. "	3 B 森口教諭	233
1 8. "	3 C 仁木教諭	247
1 9. "	3 D 後藤田教諭	256
2 0. 人の世に熱あれ、人間に光あれ		266
	3 E 阿部教諭	
2 1. 誇りうる生き方を求めて (指導案)	豊田教諭	277
2 2. 誇りうる生き方を求めて (指導案)	横山助教諭	279

* おわりに